

☆ 骨塩定量検査のススメ ☆

骨塩定量検査とは、骨量（骨の中身としての組織が十分あるか、組織に隙間がないかなどの骨の密度のこと）が低下していないかを調べる検査であり、おもに骨粗鬆症（こつそしょう）を診断する検査です。

正常な背骨



骨粗鬆症の背骨

骨量は成長期に増加し、30～40歳代で最大に達し、それ以降は年齢とともに減少します。骨量が極度に減少し、骨がスカスカになった状態を骨粗鬆症といい、ちょっとしたことで骨折しやすくなります。骨粗鬆症の大半は高齢からくる老人性骨粗鬆症ですが、カルシウムの摂取不足、運動不足、喫煙なども骨粗鬆症を引き起こす要因になります。

とくに女性は閉経後に激減しやすいため、中高年以上の方は、年1回は骨量の検査を受けることが望めます。また、最近では若い女性にも多く見られる傾向があります。

骨粗鬆症かどうかは、レントゲン写真（単純X線検査）でもわかりますが、ある程度進行してからでないと診断が難しいため、早期には特殊な装置による骨量検査が必要になります。

骨塩定量の検査 DXA 法

骨塩定量の検査として「DXA（二重X線エネルギー吸収測定法）」という方法で骨の量（骨密度）がわかります。

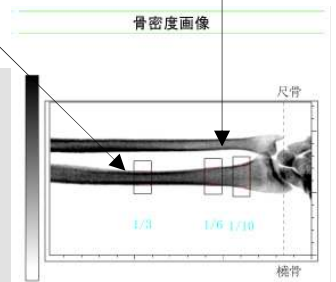
DXA（二重X線エネルギー吸収測定法）とは、2種類のX線を骨にあてることによって、X線の吸収率から骨量（骨密度）を測定する方法です。

当院は橈骨（手首から肘までの骨の太い方）を測定するDXA装置です。橈骨は加齢による変化が少ないため高齢者の測定に適しています。



皮質骨が主体の骨幹部と海綿骨を多く含む遠位部（手首に近い方）を、1回約15秒の計測で測定できます。

検査をご希望の方は、遠慮なく医師にご相談下さい。



☆ 病院からのお知らせ ☆

- ・ 特定疾患医療受給者票の更新時期になっております。（9月30日まで）新しい受給者証がお手元に届きましたら、ご受診の際にご提示いただけますようお願い致します。
- ・ 乙訓特定健診はお済みですか？10月31日までです。お済みでない方はお早めにお受け下さい。（生活機能評価は平成25年2月28日までです）

新河端病院 理念

信頼と安心の医療

1. 患者様に感動をしていただける医療を実践します
1. 患者様に選んでいただける病院づくりを実践します

「患者さまの権利」

患者さまには次のような権利があります。私たちはその権利を尊重するような医療を行います。

- ・ 医療を受ける権利
- ・ 知る権利
- ・ 自分で決定する権利
- ・ プライバシーを守られる権利



医療法人 医修会 新河端病院